

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名： 太陽エネルギー化学研究センター

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【研究】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 太陽光照射により水と酸素から過酸化水素を合成する光触媒の開発で、太陽エネルギー変換効率の世界最高値を達成し、大阪大学から特許を出願したことが評価できる。
【社会貢献】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。 パナソニック株式会社協働研究所との連携を新たに開始するなど、4件の共同研究を実施したことは評価される。
【グローバル化】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。